

吾峰会 岩手

発行: 吾峰会岩手
住所: 奥州市水沢多賀11-5
TEL: 0197-23-7858

「普通の人で

幸福に過すぞう」

岩手県副支部長 浅沼 清昭

我が家の居間と寝室に相田みつをが記した額があります。「しあわせはいつも自分の心がきめる」と。このことについて、地区の皆さんの集まりでお話しました。しあわせには、血液検査みたいに基準値はありません。時間があり、お金がいつぱいある人でもしあわせを感じない人がいます。かと言って、その日暮らして精一杯働いて、あーなんとか今日も無事過ごしたなーと、少しのしあわせを感じる人がいます。私達は、これからも少しのしあわせでもいいから求めて過ごしていきたいましよう。

そしたら、或る人から、「浅沼さん、以前に学校の先生とかもやられたそうだが、そんなふうに見えませんか。」

と言われました。そこで、「では私どんな人に見えますか。」

と聞いたたら、「普通の人です。」と言われました。

うれしかったです。これからも普通の人で、地域の皆さんと楽しくおつきあいをしていきたいと思ひます。

あの日、あの頃

福島大学の思い出

「アルバムを

開いてみたら」

宮本 ひろみ

小学校教員養成過程
昭和五十六年三月卒

原稿を依頼され、大学時

代何があつたのか思い出すために手持ちのアルバムを開いてみました。すると、結構あちこちに出て歩いていたことが分かりました。安達太良山、蔵王、五色沼、そして北海道旅行等々。中でも一番の思い出に残っているのは、北海道旅行です。

クラスの友達三人で北海道旅行をしようということになりました。一番の悩みの種はお金です。親に出してもらいうわけにもいかないと思い、アルバイトをして貯めました。（貯まるまで何か月もかかりました。）記憶に鮮明に残っているのは、旅行計画を立てている時の

ことです。よく旅行は、準備している時が一番気持ちが高ぶると聞きますが、私の場合も例外ではありません。今は行き先が決まれば、スマホ等で乗り継ぎの電車や料金等、すぐ分かります。その当時は、スマホ等ないので、時刻表やガイドブックを駆使し、何日もかけて調べました。友達

の部屋に集まり、〇〇に行くには何線に乗ればいいのか、乗り継ぎはうまくいくのか、交通手段は電車かバスか、あっちに行きたい、こっちに行きたい、宿泊場所はどこにする等々。旅行の行程が作られていくと、頭の中は行つたことのない北海道を想像していました。時間はかかりましたが、その時がたまたま楽しくかつたと思ひます。

クラスの旅行もありました。三年の時だったでしょう。か。というわけかこの時も旅行の計画を立てるメンバーの一人になりました。この時の目

的場所が、蔵王です。天気に恵まれ紅葉もきれいで、大成功に終わりました。旅行の最終日、責任を果たしたという気持ちで働いたのでしようか、普段は飲まないお酒を結構たくさん飲み、次の日は具合が悪く、やっとの思いで歩いていたのを思い出しました。

アルバムには、サークル活動の写真、教育実習の写真、朝早く起きて阿武隈川沿いをジョギングしている写真等々ありました。忘れていた大学時代を思い出すいい機会になりました。



宮本先生は2列目中央

母校を訪ねる旅（十月五日・六日）

福島大学での講義（金谷川キャンパス学生食堂）

学生食堂での昼食後、事務局長 野崎修司様、研究部長 熊田喜宣様より、福島大学の状況に関わり、大学の変遷、そして今後の展望についてご説明いただきました。学部・学類が増設され、母校が着実に発展を遂げていること、今後学部の見直しを検討され、更なる飛躍が期待されることを知り、大変嬉しく思いました。さらには、M棟講義室や図書館の他、構内をバスで循環いただき、当時のことを懐かしみながら、キャンパスを身近に感じる機会となりました。

国際交流会館（旧美奈跡地）

国際交流会館では、事務局梅津様、娘さんから歓迎を受け、お仕事の概要についてご説明いただきました。ゆったりとした時間の中で、阿武隈川の流れを間近に感じながら、当時を彷彿するひとときとなりました。事務室には、かつて訪問した当時の写真が飾られており、参加者一同感謝と感激の思いでいっぱいでした。このように、今回の母校への訪問が、充実し、思い出深いものになりました。本部同窓吾峰会事務局のご対応に、重ね重ね御礼を申し上げます。



信夫山より市内一望



古関裕而記念館（旧如月寮跡地）



キャンパス講義棟前



宮城県 白石城見学



元学長今野先生を囲み懇親会



ホテル叶や夕食バイキング

お知らせ

令和七年度福大同窓吾峰会岩手支部総会について

- 期日 令和七年六月一日
- 時間 十三時受付開始予定
- 場所 水沢グランドホテル
- 内容

- ① 総会
- ② 研修会

講師 佐藤彰博氏
（後藤新平記念館館長）
昭和五十四年卒

演題 「後藤新平の功績」

※仮題

- ③ 懇親会

○詳しいことにつきましては、五月にご案内いたします。
※同窓吾峰会創立140周年記念版会員名簿（令和六年度）が刊行されました。支部事務局用として、本部より謹呈されております。今回の刊行に当たり購入された方もいると思いますが、購入されていない方で名簿で確認したいことがございましたら、事務局までご連絡ください。（電話090（7795）3911高橋）
※今回の母校を訪ねる旅に参加された山口成実先生が、一月五日に急逝されました。本支部の監事を務めていただいていた。心よりご冥福をお祈りいたします。